



◎国語の学習から ～読む・書く活動の充実を目指しています！

☆ 短歌や俳句の場面(情景)を豊かに想像しました。

「短歌や俳句に親しもう(二)」の学習では、「金色の小さき鳥の形して銀杏散るなり夕日の岡に(与謝野晶子さん作)」を例に、その場面の情景を読み取る学習を行いました。

次の時間に、「自分の選んだ作品の場面や作者の気持ちを想像する」活動を進め、その場面を絵に表す形で考えをまとめさせました。子どもたちの豊かな感覚があらわれる作品がつけられ素晴らしかったです。

☆ プラタナスの木を読み感想文を書きました。



「プラタナスの木(椎名誠さん作)」の作品を読み、読み取ったことをもとに感想文を書く学習をしました。

今回の学習では、子どもたち一人一人の感想をもとに、それぞれの児童が特に印象に残った部分をまず第1回目の感想とし、本文を読み進めながら登場人物への感想を深めていきました。

☆ 人権週間のまとめの活動をしました。

人権週間のまとめの活動として、「折り句づくり」の活動を行いました。

これは、自分の名前や友だちなどの名前を用い、その人がどのようなよさがあるかを句に表す活動です。

自分のよさを示すだけでなく、友だち、さらには先生を題材に作成するなど、多くの相手に句を作成する様子がみられ、人権週間を締めくくる活動として成果がみられました。

